

平成21年度第1回
「大分県食品安全推進県民会議」

資 料 編

- | | | |
|---|---|----------|
| 1 | 大分県食品安全推進県民会議委員名簿 | P 1 |
| 2 | 大分県食の安全確保推進本部名簿 | P 2 |
| 3 | 平成20年度大分県食品安全推進県民会議・
食の安全確保推進本部等会議開催状況 | P 3～P 4 |
| 4 | 平成20年度大分県食育推進会議・
食育専門部会等会議開催状況 | P 5 |
| 5 | 現地視察研修（平成21年度第1回） | P 6～P 10 |

[別 添]

- 大分県食の安全安心推進条例（概要版）パンフレット
- 大分県食品安全行動計画（全文）
- 大分県食品安全行動計画（概要版）パンフレット
- 大分県食育推進計画（概要版）パンフレット
- 大分県シシ肉・シカ肉衛生管理マニュアル
- ふぐ中毒防止パンフレット

大分県食品安全推進県民会議委員名簿

		第3期(H19.10～21.9)		
NO	対象	団体・役職名	委員名	備 考
1	消費者代表(6名)	(社)大分県地域婦人団体連合会理事	サクライ テツヨ 櫻井 哲子	
2		料理研究家・栄養士	タカハシ トモコ 高橋 知子	
3		大分県生活協同組合連合会専務理事	オオタ ヨウサク 太田 耕作	
4		大分県食生活改善推進協議会副会長	サトウ ヒサコ 佐藤 久子	
5		大分いのちとくらしを考える会	ヤノ セツヨ 矢野 節代	
6		おおいた食の安心ウォッチャー	カワノ トシオ 河野 十四男	
7	生産・製造者代表 (6名)	前・大分県指導農業士会会長	カメイ ヨシノリ 亀井 義則	
8		大分県漁業協同組合女性部副部長	キハラ ミチヨ 木原 美千代	
9		ゆめネットおおいた会長(畜産女性グループ)	ハタノ ユキヨ 羽田野 由紀子	
10		大分県食品産業協議会 (大分県漬物工業協同組合長)	イトウ ヨシノリ 伊藤 由則	
11		下郷農業協同組合参与	イシカワ キミヨ 石川 貴美子	
12		大分県水産養殖協議会	ムラマツ カスヤ 村松 一也	
13	流通・販売業者代表 (6名)	大分県青果物卸売市場連合会事務局長	ヒデシマ ヒロシ 秀嶋 宏	
14		大分県魚市場連合会	ヤマガミ セイジ 山上 誠二	
15		大分県商工会議所女性会連合会理事	ヤマモト チサト 山本 千里	
16		(社)大分県食品衛生協会常務理事	コテガワ レイジ 小手川 励人	
17		大分県旅館ホテル生活衛生同業組合常務理事	オガワ マサヨ 小川 雅代	
18		株式会社マルシヨク取締役開拓部長	ナカオ マサト 中尾 正人	
19	学識経験者(2名)	大分県顧問弁護士	ウチダ ケン 内田 健	
20		別府大学食物栄養科学部教授	エザキ イチヨ 江崎 一子	

平成21年度食の安全確保推進本部・構成

H21.7.1現在
事務局:食の安全・衛生課

推進本部		幹事会		食の安全安心に関係する部分
1	本部長 副知事	二日市具正	生活環境部審議監(幹事長)	安見美代子
2	本部長 企画振興部長	榎本 謙司	広報広聴課長	平原 健史
3	本部長 福祉保健部長	高橋 勉	観光・地域振興局長	井上 靖
4	副本部長 生活環境部長	城井 秀郎	業務室長	淵 祐一
5	本部長 商工労働部長	米田 健三	健康対策課長	藤内 修二
6	副本部長 農林水産部長	片岡登喜男	生活環境企画課長	坂本美智雄
7	本部長 教育長	小矢 文則	県民生活・男女共同参画課長	足達 賢二
8	本部長 県警本部生活安全部長	西川 総一	私学振興・青少年課長	戸田 太治
			食品安全・衛生課長	森 修二
			環境保全課長	局 伸男
			経営金融支援室長	伊東 恭一
			商業・サービス業振興課長	河野 恭介
			集落・水田対策室長	松久 房義
			おいおいブランド推進課長	力徳 昌史
			園芸振興室長	衛藤 隆
			畜産振興課長	今吉豊一郎
			家畜衛生飼料室長	金塚 秀夫
			林産振興室長	足立 紀彦
			森との共生推進室長	大政 康史
			漁業管理課長	小川 浩
			水産振興課長	壽 久文
			体育保健課長	渚 洋行
			生活環境課長	佐藤 文亮

平成20年度大分県食の安全確保推進本部関係会議の開催状況

月日	食の安全確保推進本部	食の安全確保推進本部関係会議	食の安全確保推進本部幹事会
4月25日		食の安全確保推進本部	<p>【第1回幹事会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 食の安全・安心確保に関する推進体制 ア. 食の安全・安心確保に関する推進体制について イ. 食の安全・安心確保に関する事務処理要領について 2. 各課の事業 ア. 平成19年度食の安全・安心確保関連事業実施状況について イ. 大分県食品安全行動計画の進行管理について ウ. 平成20年度食の安全・安心確保関連事業について 3. 報告事項 ア. 医薬品成分を含有するいわゆる健康食品について イ. 清涼飲料水の異物混入事例に関する対応について ウ. 韓国で発生した高病原性鳥インフルエンザについて 4. その他 ア. 大分県食品表示監視協議会の設置について
5月19日	<p>【第1回会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 平成19年度主な食の安全・安心確保の取組み報告について 2. 平成19年度「食品安全推進県民会議」及び「食育推進会議」の開催状況 3. 平成20年度食の安全・安心確保の取組みについて 		
5月27日		<p>【第1回現地視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 株式会社 兵庫 2. さいき海の市場 3. 株式会社 ヤマジ 佐伯工場 	
6月11日		<p>【第1回会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 食の安全・安心確保の取組みについて ア. 平成19年度食の安全・安心確保関連事業の実施状況及び「大分県食品行動計画」活動指標の達成状況について イ. 平成19年度食育関連事業の実施状況及び「大分県食育推進計画」数値目標の達成状況について ウ. 平成20年度食の安全・安心確保関連事業について エ. 平成20年度食育関連事業について 2. 現地視察結果（第1回）について 3. 食を取り巻く最近の動きについて ア. 医薬品成分を含有するいわゆる健康食品について イ. 清涼飲料水の異物混入事例に関する対応について ウ. 高病原性鳥インフルエンザ対策について エ. 佐伯市蒲江南部海域における二枚貝の採捕・出荷の自主規制について 	
7月18日			<p>【第1回緊急幹事会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食肉トレザ偽装表示」の対応について
8月14日			<p>【第2回緊急幹事会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アサリ、米偽装表示」の対応について

平成20年度大分県食の安全確保推進本部関係会議の開催状況

月 日	食の安全確保推進本部	食品安全推進県民会議	食の安全確保推進本部幹事会
8月26日		【第2回現地視察】 1. JAおおいた大分みどり地域本部トマト生産部長会場 2. 大分県食肉衛生検査所	
9月8日			【第3回緊急幹事会】 ・「政府事故米不正転売」の対応について
9月22日	【緊急会議】 1. 三笠フーズ(株)による政府事故米穀不正流通について 2. メラミン混入食品の流通について 3. 本県の対応について		
10月23日			【第2回幹事会】 1. 平成20年度食の安全・安心確保に関する事業進捗状況について 2. 最近の食を巡る問題について 3. 食品偽装表示に対する取り組みについて 4. 県民が主役の食品表示の取組みについて 5. 第二次大分県食品安全行動計画の策定について 6. 食品安全推進県民会議現地視察の結果(第2回)について
10月31日		【第2回会議】 1. 平成20年度食の安全・安心確保に関する事業進捗状況について 2. 最近の食を巡る問題について 3. 第二次大分県食品安全行動計画の策定について 4. 県民が主役の食品表示の取組みについて 5. 現地視察の結果(第2回)について	
2月3日		【第3回現地視察】 1. 株式会社 おおやま夢工房(リ)キューラル工房うしゆく 2. 有限会社 本川牧場	
2月13日			【第3回幹事会】 1. 第二次・大分県食品安全行動計画について 2. 平成21年度食の安全・安心確保関連事業要求内容について 3. 食品安全推進県民会議現地視察の結果(第3回)について
2月18日			【第4回緊急幹事会】 ・「タケノコ水煮産地偽装表示」の対応について
2月26日		【第3回会議】 1. 第二次・大分県食品安全行動計画(案)について 2. 食の安全・安心確保事業について ア. 緊急対策事業 イ. 平成21年度食の安全・安心確保関連事業要求内容 3. 現地視察の結果(第3回)について 4. 食を取り巻く最近の動きについて ア. フグ卵巣による食中毒事件について イ. たけのこ水煮の不真正表示について	
3月23日			【第5回緊急幹事会】 ・「はまぐり産地偽装」の対応について

平成20年度 食育推進会議・食の安全確保推進本部食育専門部会開催状況

月	食育推進会議	食の安全確保推進本部 食育専門部会	「食育推進計画」 実行委員会 (ワーキンググループ)
4月		第1回食育専門部会(4/25) (1) 食育推進体制について (2) 平成19年度食育関連事業実施状況と「大分県食育推進計画」数値目標の達成状況について (3) 平成20年度食育関連事業について (4) 第3回食育推進全国大会について	第1回「食育推進計画」実行委員会(4/14) (1) 「大分県食育推進計画」数値目標の達成状況について (2) 平成20年度食育関連事業について (3) 保健所・市町村食育担当者会議について (4) 第3回食育推進全国大会について
6月	第1回食育推進会議(6/30) (1) 平成19年度食育関連事業実施状況と「大分県食育推進計画」数値目標の達成状況について (2) 平成20年度食育関連事業について (3) 食育推進会議(平成20年2月)で出された意見に対する県の見解について (4) 意見交換「“男性への食育”のすすめかた」		第2回「食育推進計画」実行委員会(6/13) (1) 食育推進会議(平成20年2月)で出された意見に対する県の見解について
10月		第2回食育専門部会(10/23) (1) 平成20年度食育関連事業進捗状況について (2) 第1回食育推進会議で出された意見について	
11月	現地視察研修(11/7) 豊後大野市 西部学校給食共同調理場 朝地町温見地区		
2月	第2回食育推進会議(2/24) (1) 平成21年度事業要求内容について (2) 第1回食育推進会議で出された意見について (3) 食育推進会議現地視察研修結果について (4) 意見交換「若い世代(20代、30代)への食育の普及」	第3回食育専門部会(2/13) (1) 平成21年度食育関連事業要求内容について (2) 第2回食育推進会議意見交換のテーマについて (3) 食育推進会議現地視察研修結果について (4) 今後のスケジュールについて	

「大分県食品安全推進県民会議」第1回現地視察

1 概要

食品安全推進県民会議の平成21年度第1回現地視察として、「大分県農林水産研究センター安全農業研究所」及び「株式会社アクトいちごファーム」を視察し、県の安全農業への取組みといちご生産施設の現状について理解を深めた。

2 参加者

食品安全推進県民会議委員 8名
農林水産研究センター安全農業研究所
北部振興局生産流通部野菜・椎茸班
北部振興局生産流通部企画・流通班
食品安全・衛生課

3 日時及び視察先

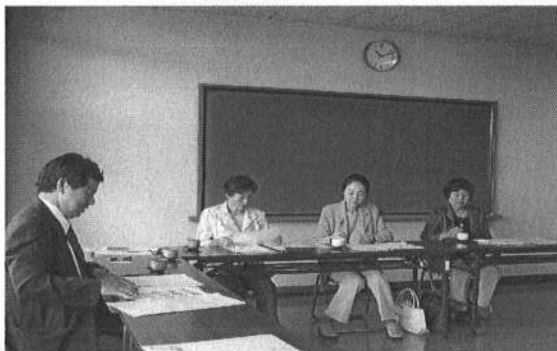
(1) 日 時 平成21年5月25日(月)

(2) 視察先

[1] 大分県農林水産研究センター安全農業研究所(宇佐市北宇佐)

[2] 株式会社アクトいちごファーム(宇佐市南宇佐)

[1] 大分県農林水産研究センター安全農業研究所



小野所長から“土壌肥料”について説明を受ける。

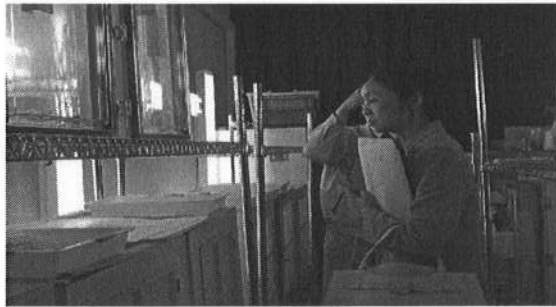


屋上より安全農業研究所の全景を視察

加藤主幹研究員より施設の説明を受ける。



【電子顕微鏡室】



【病害虫実験室】

[2] 株式会社アクトいちごファーム



小野代表取締役より説明を受ける。



施設全景



4 意見交換

[1] 大分県農林水産研究センター安全農業研究所

Q.大分県の化学肥料使用量が他県（九州）と比べて少ないのはなぜですか。

A.大分県の農業はトマト、ピーマンなどの夏秋栽培を特徴としています。

夏秋栽培は土壌に溜まった肥料を雨（梅雨）によって流すことができません。冬春栽培の宮崎県・鹿児島県等のように肥料を使用すると土壌障害を起こしてしまうため肥料使用量が少なくなっています。

Q.フェロモンによる交信かく乱は、害を及ぼす虫だけに影響を及ぼすのですか。また、値段や有効期間について教えてもらいたい。

A.フェロモンは種特異的に働くので、対象種以外の昆虫や植物への影響ありません。値段は（小さいもの）10個入りで2,500円ですが、有効期間や有効な時期などは昆虫によって異なります。

Q.ミツバチが少なくなっているそうですが、今年の受粉に影響はありますか。

A.（ミツバチは家畜なので管轄外ですが）「女王蜂が農薬により減っている。」「地球の磁気が狂っている。」等いろいろ言われていますが、はっきりとしたことは分かっていません。

Q.土壌中にリン酸・カリウム・窒素が溜まることについて、行政として（国や県は）指針はあるのですか。

A.指針は考えていません。窒素は水で簡単に流すことができます。そのため窒素は雨などで洗い出され、地下水へと移行するので、土壌には蓄積しにくいです。土壌中に蓄積し易いのはリン酸やカリウムで、溜まりすぎると判断される場合には農家にリンやカリウムを使用しないよう指導しています。しかし、収穫量が減少すると、リン酸やカリウムをたくさん蒔かなかつたためだと思われ、なかなかうまく普及できません。

その他、土壌肥料・病害虫について多くの質問意見が出されました。

[2] 株式会社アクトいちごファーム

Q.いちごの味はどうですか。

A.当社は元々土壌を作る会社（株）アクト化成）ですから土には自信がありました。また、グループ企業の（有）アクトグリーンでは「味一ねぎ」を栽培しておりましたので、大規模農業のノウハウにも自信があります。

また、水、肥料にもこだわっており、「J-GAP」や「e-na おおいた」を取得するために農薬を最小限に抑えているので、それらが味に生きてくると思っています。

Q.いちごは加工しているのですか。

A.生産量の2割程がジャムになっています。そのままのパックのほうが値段は良いのですが、ある程度値が下がるとジャム用として出荷しています。

Q.受粉はどのように行っているのですか。

A.ミツバチを使っています。養蜂場からミツバチを借り、受粉が終了したら返しています。

Q.「J-GAP」を取得するために行っていることは何ですか。

A.ほとんど書類作りです。栽培方法や衛生確保などは、今までどおりでクリア

できています。

Q.害虫・病気対策はどうしていますか。

A.農薬の使用量を減らすために、害虫をビニールハウス内に進入させないようにしています。ハウス内を涼しくすることも大切なので、目の細かいネットでハウス全体を覆うようにしています。

Q.資材の交換はどれくらいの周期でしていますか。

A.3年ごとに取り替えています。今は敷地を4分割し、劣化した部分を取り替えるようにしています。

その他、いちごの生産について多くの質問意見が出されました。

5 参加委員のアンケート結果

大分県農林水産研究センター安全農業研究所

- ・どの程度までの安全を考えているか、期待していなかったのですが、何もしない有機農業まで視野に入れていたこと、農薬を減らすことにここまで考えてうれしかったです。
- ・有機農業、減農薬栽培等の実行はとても難しく手間がかかりますが、これからの農業の将来に期待しています。
- ・安全農業研究所でどこまでやれば安全性が保証できるのか、行政の取組みの重要性とその限界がある程度理解できた。
- ・地味なお仕事です。
- ・私も食べるぐらいは作っていますが、作ってない人には、土とか虫とか言ってもほとんど分からないと思います。ハウスで作っている人ばかりではありませんから、肥料のやり過ぎが悪いとは分かりませんでした。良い勉強になりました。
- ・安全農業研究所の役割についての説明は、わかりやすく説明いただいたので理解を深めることになり、職員のご苦勞も理解しました。
- ・多くの県民に理解される広報等が必要と考えます。
- ・安全農業研究所の視察は、農産物の安全性を考える上で非常に勉強になった。もっと早い時期に視察したかった。

株式会社アクトいちごファーム

- ・日本一を目標にされて動き出されている若さに、今は大変でしょうが、手間の省力化、オリジナルの味の「いちご」を出し続けられたら、目標到着も早いのではないかと思います。
- ・若い経営者、スタッフに驚いた。
- ・これほど大規模とは思いませんでした。イメージでいちご農家がいくつか力を合わせて大きく生産していると思っていました。
- ・農業の後継者が問題となっている今日、若い人での開発心や取組の熱心さが気に入りました。
- ・いちごの銘柄は「さがほのか」ではなく大分ブランドを考えてほしい。

(研修について感想)

- ・スケジュールがとてもゆったり取ってあって質問もたっぷりできたので良かったです。
- ・安全農業研究所の方々が大層に準備して下さり、分かり易く説明していただいて良かった。
- ・せっかく、安全農業研究所まで行ったので、暑くても屋上から施設の全景を見るのではなく外の施設も少し見たかった。

- ・アクトいちごファームの大きな生産により地域のいちご生産農家は影響を受けているのではと気になりました。
- ・日程を調整して多くの委員の参加を望みます。
- ・日本一を目指しただけあって、説明も分かり安くて、技術も設備も整い、土作りに自信がありますので、(安心・安全ないちご)ができると思います。消費者も安心していちごを食べると思います。